

川北町の小学生を対象とした水防学習

- 川北町の小学生を対象に、手取川の成り立ちや川の働き(浸食、運搬、堆積)、過去の水害の歴史について水防学習を実施しました。
- 実験水路を用いて、子供たちが水防資材に見立てた様々な道具を使い堤防の決壊を防ぐ方法について体験し、水防の大切さを学びました。
- また、洪水が発生した際の危険性や、自分たちの命を守るための避難行動について考えていただきました。

■ 日 時:令和8年 9月17日(木) 13:30 ~ 14:55

■ 場 所:水辺の楽校(西部拠点)

■ 参加者:川北町内小学生

■ 内容

- ①開会挨拶
- ②手取川の歴史や川の働き、水防について学習
- ③洪水発生や堤防決壊の仕組みを実験・観察
- ④水害対策の検討、水防活動体験、対策発表
- ⑤水害から命を守るための避難行動について学習
- ⑥閉会挨拶



水路実験の様子①



水路実験の様子②



職員による説明

実際の手取川の堤防はどう守っていますか。
堤防の材料は何ですか。

コンクリートや石を使った護岸などで守っています。
堤防は基本的に土砂でつくられています。

みんなで工夫して堤防を守ることができた。



水路実験講評の様子